

韭 工 ニュース

県立韭崎工業高等学校 総務部
第 212 号 2021.11.26

就職内定 100%達成
甘利山登山強歩大会
ロボコン山梨出場
技能検定に挑戦

就職内定 100% 18年連続

12月2日(木)、就職希望者111名の進路先が決定し、今年度も就職内定率100%、進学希望者合格率100%を達成しました。今年度の求人数は、県内416件(昨年比+12%)、県外741件(同+3%)という結果でした。製造業の求人は平成30年度と同程度まで持ち直し、半導体関連企業を中心に多くの求人をいただきました。本校生徒の就職希望者のほとんどが製造業希望のため、今年度も比較的感染症の影響が少ない中での就職活動を行うことができました。応募前企業見学や就職試験など、オンラインで行う企業が多かったことも今年度の特徴と言えます。その様な状況下でも進路先の決定については学科の先生方の就職指導が徹底され、有効な支援をすることができました。また、学科・学年を中心に面接指導・学習指導に重点を置き、就職指導を進めた結果、学校紹介による一次応募の合格率は90%以上を達成しました。将来の展望が不確実な社会の状況下ではありますが、ものづくり人材の高齢化に伴い、企業の高校生の採用意欲はここ数年上昇し、その活動はより活発になっています。本校では全生徒が企業実習を行うなど、地域企業との連携に重点を置き、年々上昇する企業の期待度に応える教育を行っています。やまなしの製造業を支え地域社会に貢献する「ものづくり産業を支える人材育成」を行う「進路実現に強い韭工」を今年度もアピールできたと思います。



第54回甘利山登山強歩大会



今年度の強歩大会は、昨年と同様に様々な対策を講じ実施することができました。大会当日は天候にも恵まれ気持ちよく走れました。男子の優勝は2年連続で川口魁士君(3年)、準優勝は竹内幸穂君(1年)、3位石原蓮君(1年)、4位中山隆平君(3年)、5位保延惟吹君(3年)、6位深澤亮雅君(3年)と3年生が最上級生らしい頑張りをみせてくれました。2年トップは名執晴希君でした。女子の優勝は2年連続

で伊藤紅葉さん(3年)、準優勝は小清水真美さん(2年)、3位島津杏奈さん(3年)、4位亀井香里さん(3年)、5位久米田萌さん(3年)でした。1年生トップは戸嶋優さんでした。女子も3年生が頑張りで下級生に良い手本をみせてくれました。全校生徒が感染対策を守りながら、頑張っている姿はとてもしっかりよく見えました。来年は頂上で良い景色を見て、今年以上に達成感を味わってほしいです。

URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>
e-mail nirasakik-k@kai.ed.jp

ロボコンやまなし

ロボコンやまなし2021が11月13日（土）にアイメッセ山梨にて開催されました。昨年に引き続いての無観客開催となりましたが、開催していただいたことに感謝したいです。

結果は3台出場し、3位と8位、そして牧野賞という結果となりました。優勝を目指していたので非常に残念ですが、よく健闘してくれました。毎日遅くまで製作し、例年になく時間を費やしたロボットでした。3台とも生徒自身がアイデアを出し合い、それぞれ違う動き、機構を用いたロボットを製作しました。優勝こそ逃しましたが、参加後、「楽しかった」という言葉を聞いて嬉しく思いました。「良いもの」を作るには時間がかかることを身を持って学べたいい機会になったと思います。来年は優勝します！



新聞委員会 芸術文化祭受賞



第42回山梨県高等学校芸術文化祭新聞部門が行われました。今年も新型コロナウイルスの影響で、グラウンドステージが中止となり、新聞部門は高文連ホームページへの各校の新聞掲載と発行新聞の審査となりました。参加校は甲府第一高校、甲府西高校、都留高校、本校の4校で、審査の結果、最優秀賞に選ばれ、来年8月に行われる全国高等学校総合文化祭東京大会へ参加できることになりました。この一年、委員長の今村妃世里さん（3年6組・敷島中出身）、副委員長の長林宥弥君（3年4組・韮崎東中出身）、坂本優良さん（2年1組・竜王北中出身）の3名を中心に、学校生活の大きな出来事から小さな出来事まで、新聞で紹介してきました。これからも生徒の頑張る姿を新聞で紹介していきたいと思いますので、ご愛読をよろしくお願いいたします。

委員長の今村妃世里さん（3年6組・敷島中出身）、副委員長の長林宥弥君（3年4組・韮崎東中出身）、坂本優良さん（2年1組・竜王北中出身）の3名を中心に、学校生活の大きな出来事から小さな出来事まで、新聞で紹介してきました。これからも生徒の頑張る姿を新聞で紹介していきたいと思いますので、ご愛読をよろしくお願いいたします。

高校芸術文化祭:郷土芸能部門

第42回山梨県高等学校芸術文化祭郷土芸能部門へ参加してきました。本年度は3位という結果になってしまい総文祭へは出場できませんが関東大会への出場切符を得ることができました。コロナ禍で学校外での演奏ができず、部員のモチベーションが低迷した時期もありましたが、部活動を応援してくれる保護者・学校関係者の言葉



を聞いて、最高のパフォーマンスで演奏したいという気持ちになりました。今回の結果は応援してくれたみなさんの協力があってだと思います。今後も日々の練習に取り組み、来年度の第11回関東地区高等学校和太鼓選手権では、山梨県代表として恥ずかしくない演奏を全国に響かせたいと思います。

